

パレスチナ建国勝利まで パレスチナの人々と共に闘い続ける

日本赤軍 重信房子

本紙一〇月二五日号で、平田伊都子さんのパレスチナ現地レポート「混沌のPLO」が、二スからの報告を紹介したが、今日では、去る一月八日に東京で行われた「日本赤軍二〇年の軌跡」(話の特集刊)の出版記念パーティーに寄せられた、日本赤軍・重信房子さんのアビールのうち、パレスチナ問題に関する部分を紹介する。(見出しは全て編集部)

人民解放戦略に基づく闘い

中東にも新しい時代が訪れています。PLOとイスラエルの相互承認の上に、パレスチナ自治の実体化が急速に進行しています。第二次大戦の後発処理の結果として国を失ったパレスチナの人々は、初めアラブの国々の軍隊の一部に志願し、占領された土地を取り戻そうとして、七七年戦争の敗北は、パレスチナ人自身で自分の力で奪われた地を取り戻す闘いの出発を促しました。旧来のPLOを転換し、新しい出発として、全土解放の人民戦争路線による政治軍事闘いを開始しました。六〇年代後半から七〇年代の正義の闘いを通し

グローバリズムの強制の中で

エル承認の戦略的転換への流れが開始され、ゴルバチョフ政権の登場によるパチコフ政権の登場による加速されながら求まってきた。エル承認の戦略的転換への流れが開始され、ゴルバチョフ政権の登場によるパチコフ政権の登場による加速されながら求まってきた。エル承認の戦略的転換への流れが開始され、ゴルバチョフ政権の登場によるパチコフ政権の登場による加速されながら求まってきた。

新たな歴史的段階に入った 中東の攻防

しかし、こうした方眼の中でのPLO・イスラエルの相互承認は、反植民地主義の側面より、植民地主義の側面より、反イスラエル反シオニズムによって成り立っている固有の閉鎖の根拠を無視して、欧米の制度を無視的に押し付けていることと、自由な競争を保障するための制度的画一化を促進させる方向へ歩を進めざるを得ない。包括的平和を主張するシリアは、戦略的には同一方向を模索しつつ、一方向を模索しつつ、戦術的には、民衆の心情を新しい攻防へとおしあげた。PLOのイスラエル承認は、中東の歴史的段階の進路を実現する道であり、何処とも軍事同盟を結ばないで、長期的には、イスラエルの経済基盤とアラブの経済基盤が新世界の経済の中で制度的同一性を獲得する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

殺されても、内部抗争に組まない

こうした転換期の中東情勢下、日本政府は、意図的に情報操作をしようとする。中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

中東にも新しい時代が訪れています。PLOとイスラエルの相互承認の上に、パレスチナ自治の実体化が急速に進行しています。第二次大戦の後発処理の結果として国を失ったパレスチナの人々は、初めアラブの国々の軍隊の一部に志願し、占領された土地を取り戻そうとして、七七年戦争の敗北は、パレスチナ人自身で自分の力で奪われた地を取り戻す闘いの出発を促しました。旧来のPLOを転換し、新しい出発として、全土解放の人民戦争路線による政治軍事闘いを開始しました。六〇年代後半から七〇年代の正義の闘いを通し

新たな歴史的段階に入った 中東の攻防

しかし、こうした方眼の中でのPLO・イスラエルの相互承認は、反植民地主義の側面より、植民地主義の側面より、反イスラエル反シオニズムによって成り立っている固有の閉鎖の根拠を無視して、欧米の制度を無視的に押し付けていることと、自由な競争を保障するための制度的画一化を促進させる方向へ歩を進めざるを得ない。包括的平和を主張するシリアは、戦略的には同一方向を模索しつつ、一方向を模索しつつ、戦術的には、民衆の心情を新しい攻防へとおしあげた。PLOのイスラエル承認は、中東の歴史的段階の進路を実現する道であり、何処とも軍事同盟を結ばないで、長期的には、イスラエルの経済基盤とアラブの経済基盤が新世界の経済の中で制度的同一性を獲得する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

新たな歴史的段階に入った 中東の攻防

しかし、こうした方眼の中でのPLO・イスラエルの相互承認は、反植民地主義の側面より、植民地主義の側面より、反イスラエル反シオニズムによって成り立っている固有の閉鎖の根拠を無視して、欧米の制度を無視的に押し付けていることと、自由な競争を保障するための制度的画一化を促進させる方向へ歩を進めざるを得ない。包括的平和を主張するシリアは、戦略的には同一方向を模索しつつ、一方向を模索しつつ、戦術的には、民衆の心情を新しい攻防へとおしあげた。PLOのイスラエル承認は、中東の歴史的段階の進路を実現する道であり、何処とも軍事同盟を結ばないで、長期的には、イスラエルの経済基盤とアラブの経済基盤が新世界の経済の中で制度的同一性を獲得する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

殺されても、内部抗争に組まない

こうした転換期の中東情勢下、日本政府は、意図的に情報操作をしようとする。中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。



戦争はベイルート市を破壊させた。しかし、人間を破壊させることはできない。(写真：川名生十)

新たな歴史的段階に入った 中東の攻防

しかし、こうした方眼の中でのPLO・イスラエルの相互承認は、反植民地主義の側面より、植民地主義の側面より、反イスラエル反シオニズムによって成り立っている固有の閉鎖の根拠を無視して、欧米の制度を無視的に押し付けていることと、自由な競争を保障するための制度的画一化を促進させる方向へ歩を進めざるを得ない。包括的平和を主張するシリアは、戦略的には同一方向を模索しつつ、一方向を模索しつつ、戦術的には、民衆の心情を新しい攻防へとおしあげた。PLOのイスラエル承認は、中東の歴史的段階の進路を実現する道であり、何処とも軍事同盟を結ばないで、長期的には、イスラエルの経済基盤とアラブの経済基盤が新世界の経済の中で制度的同一性を獲得する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

殺されても、内部抗争に組まない

こうした転換期の中東情勢下、日本政府は、意図的に情報操作をしようとする。中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

私たちは、七〇年代前半の闘いの教訓として、これまでも、パレスチナ人の民族解放、民族自決の闘いを支持・支援し、この闘いを支持・支援し、パレスチナ建国勝利まで私たちがパレスチナの人々と共に闘い続けるべきです。

中東にも新しい時代が訪れています。PLOとイスラエルの相互承認の上に、パレスチナ自治の実体化が急速に進行しています。第二次大戦の後発処理の結果として国を失ったパレスチナの人々は、初めアラブの国々の軍隊の一部に志願し、占領された土地を取り戻そうとして、七七年戦争の敗北は、パレスチナ人自身で自分の力で奪われた地を取り戻す闘いの出発を促しました。旧来のPLOを転換し、新しい出発として、全土解放の人民戦争路線による政治軍事闘いを開始しました。六〇年代後半から七〇年代の正義の闘いを通し

新たな歴史的段階に入った 中東の攻防

しかし、こうした方眼の中でのPLO・イスラエルの相互承認は、反植民地主義の側面より、植民地主義の側面より、反イスラエル反シオニズムによって成り立っている固有の閉鎖の根拠を無視して、欧米の制度を無視的に押し付けていることと、自由な競争を保障するための制度的画一化を促進させる方向へ歩を進めざるを得ない。包括的平和を主張するシリアは、戦略的には同一方向を模索しつつ、一方向を模索しつつ、戦術的には、民衆の心情を新しい攻防へとおしあげた。PLOのイスラエル承認は、中東の歴史的段階の進路を実現する道であり、何処とも軍事同盟を結ばないで、長期的には、イスラエルの経済基盤とアラブの経済基盤が新世界の経済の中で制度的同一性を獲得する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

新たな歴史的段階に入った 中東の攻防

しかし、こうした方眼の中でのPLO・イスラエルの相互承認は、反植民地主義の側面より、植民地主義の側面より、反イスラエル反シオニズムによって成り立っている固有の閉鎖の根拠を無視して、欧米の制度を無視的に押し付けていることと、自由な競争を保障するための制度的画一化を促進させる方向へ歩を進めざるを得ない。包括的平和を主張するシリアは、戦略的には同一方向を模索しつつ、一方向を模索しつつ、戦術的には、民衆の心情を新しい攻防へとおしあげた。PLOのイスラエル承認は、中東の歴史的段階の進路を実現する道であり、何処とも軍事同盟を結ばないで、長期的には、イスラエルの経済基盤とアラブの経済基盤が新世界の経済の中で制度的同一性を獲得する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

殺されても、内部抗争に組まない

こうした転換期の中東情勢下、日本政府は、意図的に情報操作をしようとする。中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。PLOとイスラエルの相互承認は、反動的なアラブ国家を勇気づけ、進歩的アラブ国家の発展を促す道であり、中東地域の平和と安定を確保する道である。

私たちは、七〇年代前半の闘いの教訓として、これまでも、パレスチナ人の民族解放、民族自決の闘いを支持・支援し、この闘いを支持・支援し、パレスチナ建国勝利まで私たちがパレスチナの人々と共に闘い続けるべきです。

私たちは、七〇年代前半の闘いの教訓として、これまでも、パレスチナ人の民族解放、民族自決の闘いを支持・支援し、この闘いを支持・支援し、パレスチナ建国勝利まで私たちがパレスチナの人々と共に闘い続けるべきです。

私たちは、七〇年代前半の闘いの教訓として、これまでも、パレスチナ人の民族解放、民族自決の闘いを支持・支援し、この闘いを支持・支援し、パレスチナ建国勝利まで私たちがパレスチナの人々と共に闘い続けるべきです。

私たちは、七〇年代前半の闘いの教訓として、これまでも、パレスチナ人の民族解放、民族自決の闘いを支持・支援し、この闘いを支持・支援し、パレスチナ建国勝利まで私たちがパレスチナの人々と共に闘い続けるべきです。

私たちは、七〇年代前半の闘いの教訓として、これまでも、パレスチナ人の民族解放、民族自決の闘いを支持・支援し、この闘いを支持・支援し、パレスチナ建国勝利まで私たちがパレスチナの人々と共に闘い続けるべきです。